



図書館ボランティアだより

第52号

令和4年8月1日

発行 阪南市図書館フレンズ広報部会



図書館フレンズ 8月の活動予定

曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
日	7/31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
配架	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	休館日	○			
書庫入れ			○			○				○							
図書整備	午前	○					○			○							
	午後	○							○								
生け花緑化							○									○	
館内装飾																	
広報	○								○								○
ブックスタート						○											
おはなしでてこい								○									
はじまり紙芝居	○								○								○
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27			
配架	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○			
書庫入れ			○			○				○				○			
図書整備	午前	○					○			○				○			
	午後	○								○				○			
印押し	午前					○											
生け花緑化								○							○		
館内装飾																	
広報							○		○								
ブックスタート																	
おはなしでてこい																○	
はじまり紙芝居								○									
日	28	29	30	31	9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
配架	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○			
書庫入れ			○			○				○				○			
図書整備	午前	○					○			○				○			
	午後	○								○				○			
生け花緑化								○							○		
館内装飾			○														
広報	○																
ブックスタート						○											
おはなしでてこい								○								○	
はじまり紙芝居	○								○								

図書館フレンズの活動

はじまり はじまり 紙芝居部会

紙芝居をしています

上演日時

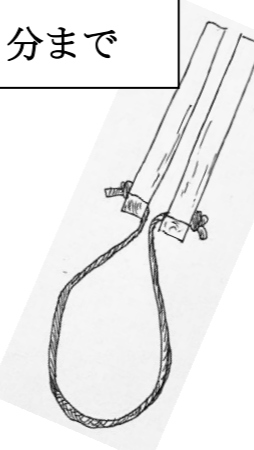
第1, 3, 4日曜日

午後2時より2時20分まで

場所

阪南市立図書館内

紙芝居コーナーにて



紙芝居『ながぐつをはいた ネコ』



紙芝居『でんしゃが くるよ』



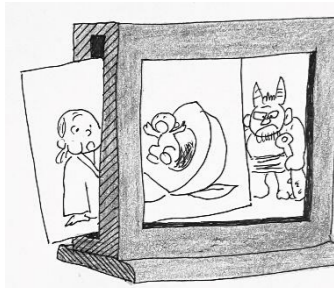
紙芝居『おとうふさんと そらまめさん』



紙芝居『すずめの おんがえし』



紙芝居『杜子春 (とししゅん)』



紙芝居『おまんじゅうのすきな とのさま』



紙芝居『ほねほね マン』



紙芝居『あかんぼ ばあさん』



「どっちの手にある？」



「ゆびあそび」



紙芝居『くわず女房』



「変身するトランプ」



人生の植物段階

生け花緑化部会 橋本一郎



我が家の「猫の額ほど」の庭にやっと花が咲きだしました。苗を買ってきて植えた木も初めより大きくなりだしました。最近まで、買ってきて植えた苗は、我が家の庭に植えると小さくなってしまっていたのに。

人生の段階

誰から聞いたのかは、もう定かではなくなりましたが、人間の興味関心の中心は、年齢とともに段階を経て変わっていくそうです。

最初は、虫に。次は、動物に。それから、異性・人間・社会に。そして、植物に。最後は、石に。

いよいよ私も人生の時計でいうと午後 11 時を過ぎたらしい。今日は、11 時 1 分かもしれないし、11 時 59 分かもしれない。それは、神様だけが知っていることだそうですが。



2・3年前から、野菜や草花を育てることが面白くなってきました。

「ああ、いよいよ私も植物の時期にきたのだなあ」と感じるようになってきました。

そして、退職した友人がそろって、畑を借りたり、家庭菜園を始めた気持ちに賛同できるようになってきました。

また、「木々や草花が、『水を欲しい、水を欲しい』と言っている」と言っていた校務員さんの言葉が実感できるようになってきました。本当に、木や草花は、「水が欲しい、水が欲しい」と言うのです。声は聞こえませんが、見るとその言葉が聞こえてくるのです。

新任のころ

まだまだ「田舎」の風情が残っている町に新任教師として赴任したころ、子どもが、毎日のように花を持ってきてくれました。

しかし、花瓶にさしたまま、水をかえることも知りませんでした。しばらくすると、水を替えるのは子どもたちがやりはじめてくれました。私は、そんなものだと思っていました。花を生けることも、植物を育てることも経験したことがなければ、そうなってしまいます。

図書館を花いっぱい

私は、図書館の中を花いっぱい飾りたい。図書館は市民にとって「憩いの場」でもあります。本を読むところに花が飾られていたら、心がなごみ、癒されるのではないかと思います。